

中間レビュー

事業の計画が実施中も妥当であるか、所期の有効性が発現するか等の課題を検証するため「中間レビュー」を実施しました。

中間レビューの意義・概要

中間レビューは、借款契約締結後5年目の段階で、事業計画の妥当性は保たれているか、事業完成後に当初予定されていたとおりの有効性が発現するかなどを検証するために行うものです。2004年度は7事

業を対象に試行的に行い、事業の実施状況を踏まえた改善案を含む今後の方針や、有効性を測る指標のデータの継続的計測の可能性等について実施機関と検討しました。

結果一覧

国名	事業名	評価結果
フィリピン	マリトボグーマリダガオ灌漑事業(1)	ミンダナオ島で貧困削減を通じて平和構築に資する本事業は、引き続き重要度が高い。マリダガオ地区(約6,200ha)は、すでに作付けを開始している。一方、マリトボグ地区(約4,300ha)では、円借款部分(約1,700ha)はほぼ完成しているが、資金制約により残り地域については完成の目処が立っていない。したがって、事業実施状況を精査し、必要に応じて計画されている2期事業に組み入れることが望まれる。その際に、営農経験がない、種籾購入資金がない、といった状況にある受益農民を支援する枠組みが必要である。
	地方都市水道整備事業(3)	地方都市の上水需要に対応する本事業は、引き続き重要度が高い。すでに給水が開始されている一部の地区では、水道普及率が目標をほぼ達成しつつあり、事業全体でも有効性の発現は問題ないと予想される。事業評価に向けたデータの整備が必要である。
	地方自治体支援政策金融事業	環境、保健、住宅分野等の社会インフラ整備を通じて地方自治体の行財政能力強化を図る本事業は、引き続き重要度が高い。上水道普及率が目標に達するなど、有効性が発現している地域がある一方、自治体の技術・能力不足等で事業が遅延している地域もある。今後の進捗の注視・促進が必要である。
ベトナム	ハイフォン港リハビリ事業(2)	ハイフォン港の機能強化により貨物取扱能力の向上を図る本事業は、引き続き重要度が高い。同港の年間貨物量は審査時の予測を大きく上回っている。今後の貨物増に対応するため、更なるハイフォン港の能力向上の可能性を考慮すべきである。
	ピン橋建設事業	経済成長に伴うハイフォン市の交通量増加に対応する本事業は、引き続き重要度が高い。料金所の整備等が残っているものの、橋本体は供用が開始されており、その交通量は予想を上回っている。
スロヴァキア	高速道路建設事業	高速道路整備によりスロヴァキア首都の交通渋滞の解消を図る本事業は、引き続き重要度が高い。近隣の交通量は増加しており(現道の1区間では審査時交通量は4万6,500台/日が05年4月に6万5,587台/日へ増加)、本事業の有効性の発現は問題ないと予想される。
モロッコ	地方給水事業(1)	地方部の飲料水需要に対応する本事業は、引き続き重要度が高い。これまでのところ需要増に見合った給水がなされており、本事業の有効性の発現は問題ないと予想される。事業評価に向けた指標設定・データの整備が必要である。

外部評価者

外部評価者(評価委託先)	略歴
関口 広隆 (オーバーシーズ・プロジェクト・マネジメント・コンサルタンツ(株))	法政大学大学院博士課程修了。2005年より現職。専門は開発協力事業評価、NGO・NPOを通じた社会開発、ノンフォーマル教育等。
宮崎 慶司 (オーバーシーズ・プロジェクト・マネジメント・コンサルタンツ(株))	イーストアングリア大学大学院(英国)開発学部および国際基督教大学大学院行政学研究科修了。1996年より現職。開発事業関連調査への従事経験多数。専門はODA評価(政策評価・事業評価)、経済・社会分析、人的資源開発。

※50音順、敬称略



ハイフォン港での工事の様子